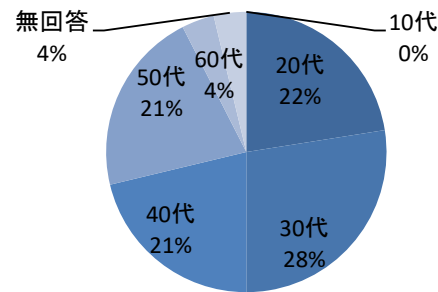
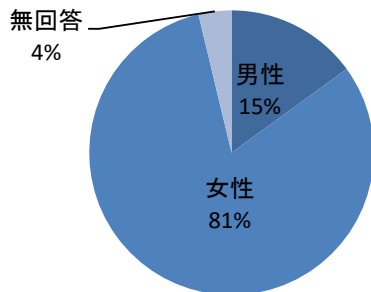


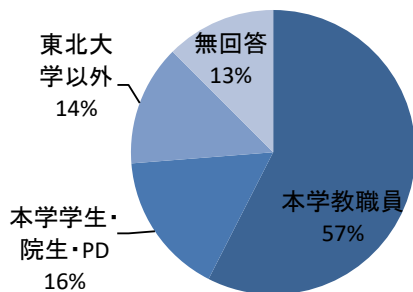
第16回東北大学男女共同参画シンポジウム アンケート集計結果

上記シンポジウムに参加された方々に、今後のシンポジウム開催の参考とするため、内容等に関してアンケートを行った。参加者 139名のうち、80名の方から回答をいただいた。

Q1 あなたの性別と年齢をお教えてください。



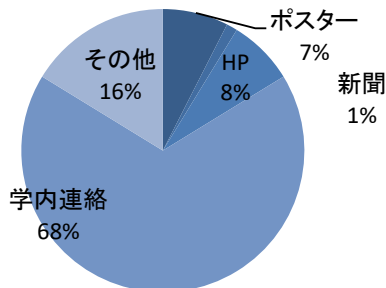
Q2 ご職業(もしよろしければ、会社名、職名も)をお教えてください



<一般(アンケート記載分)>

埼玉大学教育学部学生/広島大学理事・副学長/
石田大成社社員/那須塩原市役所課長補佐
アルプスアルパイン(株)社員/ソフトウェア業
塩釜市公務員主査/東北農政局/公務員
カメラマン/管理栄養士

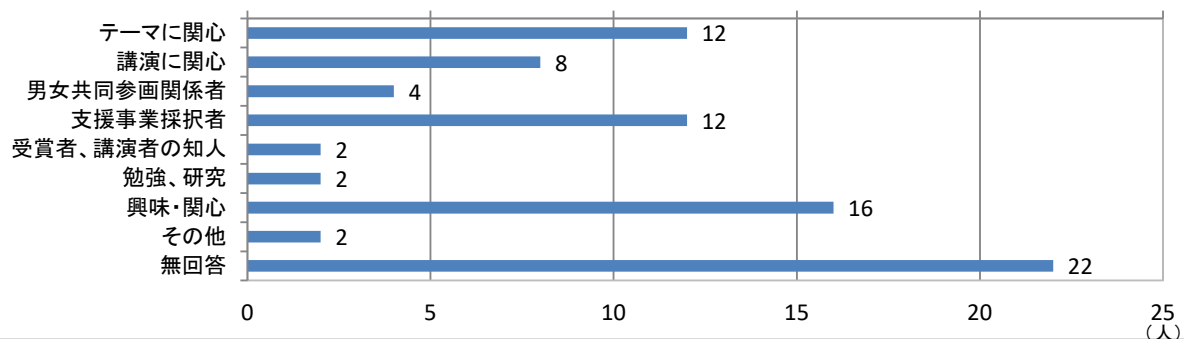
Q3 このシンポジウムのことをどこでお知りになりましたか。 ※複数回答あり



<その他>

職場へのチラシ送付/サイエンスエンジェルの活動案内/
メール/講演者からの案内/娘からの案内

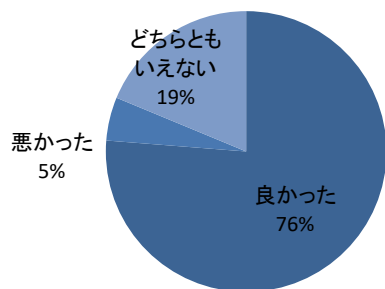
Q4 このシンポジウムに参加された動機は何ですか。



<回答>

男女共同参画、LGBTなどの現状、職場環境などの取組みを知りたかった/平川先生のお話を聞いたかった/演者の多様性/女性の働き方や多様な働き方や考え方を身につけたかったから/特別講演をききたかった/昨年参加し、良い知見が得られたから今年も何か得られると思い/いつも支援いただいている感謝の気持ちと、今後の女性の未来のため/大学および異業種である森トラストでどのような取り組みをされているのか興味があったため/パネルディスカッション講演に興味を持ったので/伊達氏、梅田氏のお話が聞いたかった/内容に興味があったため/女性としてのキャリア形成についてもっと考えてみたいから

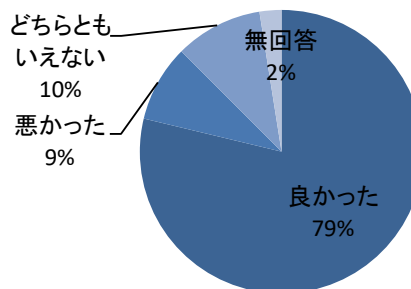
Q5 開催時期について



<コメント>

- ・学期終わりや休み始まりの開催はやめてほしい
- ・年末は忙しいので避けてほしい

Q6 会場について

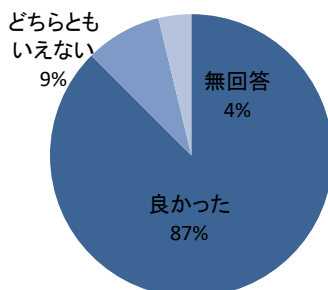


<コメント>

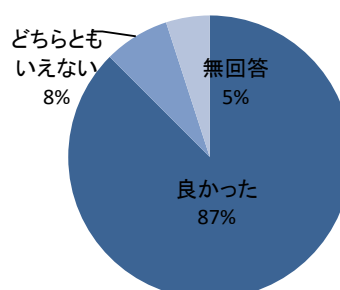
- ・参加人数に対して会場が狭かった

Q7 内容について

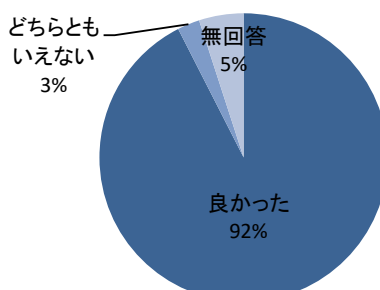
【澤柳記念賞受賞講演】



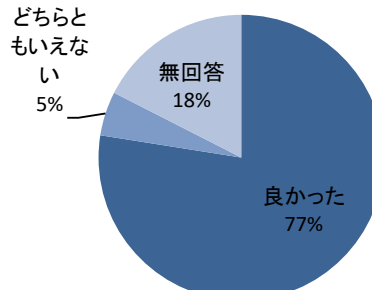
【男女共同参画の取組について】



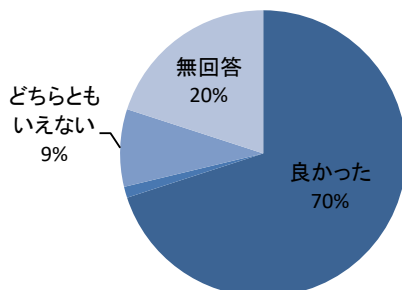
【特別講演(伊達氏)】



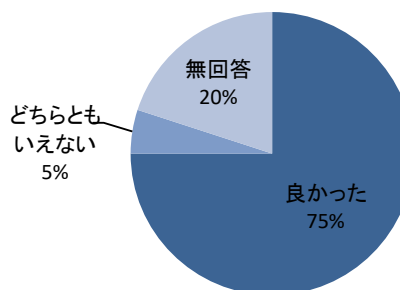
【パネルディスカッション(梅田氏)】



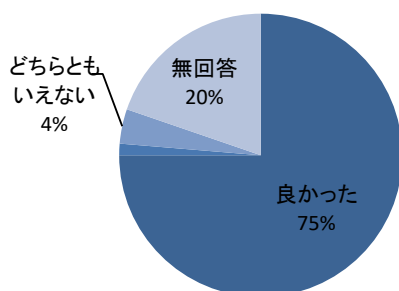
【パネルディスカッション(直江氏)】



【パネルディスカッション(倉片氏)】



【全体として】



Q8 東北大学における男女共同参画の取り組みについてご意見をお聞かせください。

- 今回のようなシンポジウムは大変興味深く、男女共同参画について考える良い機会になっていると思います。現状は教員の方の女性比率は一般企業と比べて低い水準に滞っていると思いますので、このシンポジウムで考えられたことをもっと現場に展開されていくことを期待したいです。
- 社会が変わっている、変わっていくことを実感できる情報が提供されていると思います。
- 助成金およびこのようなシンポジウムにより女性および大学全体のモチベーションが上がると思うのでとても良いと思います。
- 男性研究者の長時間労働対策の制度、風土が欲しいです。(妻の視点)
- 学生も職員、教員も女性の比率が高く意識も高いレベルにあると感じられます。
- ”女性限定”の公募で採用される人も、”女性だから”採用されたと自他ともに考えてしまうという弊害があると思う。本人もまわりも、そのような考えを払しょくする実績を上げられるよう努力することが重要と思う。毎回とてもためになる特別講演を拝聴できてありがたい。女性だから、若いからということで注目されるのではなく、何をしたかで注目されるようにならなければという言葉に同感した
- 学内全体の女性研究者交流も大事だが、まずは各研究科内で小規模な交流会がほしい
- いろいろ疑問がある

Q9 男女共同参画に関連したシンポジウムで、何かご希望の企画がありましたらお書きください。

- 現場に落とし込んだ課題の収集のために、世代、ジェンダーフリーなメンバーによる定期的な活動(意見交換など)&情報提供ができると良いですね。
- Beyond the gender equal 男女共同参画の推進を必要としない社会へ
- パワハラ、セクハラ、アカハラ、モラハラ等
- 今回の企画で大変満足です。
- 料理教室(栄養バランスを考えた時短料理とか)
- 共感について深掘した内容をききたい。職場の働き方で、柔軟さを感じられる社会の理念や実行したことをききたい
- ジェンダーギャップ指数の順位の高い国の様子を知りたいので、フィンランドやアイスランドのジェンダーに詳しい人の話が聞きたいです。
- 東北の企業で働く女性管理者の話をもっとききたい
- 10年程前、博士課程に進む前の女子学生が「女性だからこそ『自分は博士課程に進みたい』と言うことに恐怖を感じる」と言っていた方がいました。今はどうなのでしょう・・・少しだけ実態を知りたいなと思います
- 女性が研究活動にあたり抱える心理の学術的な分析を知りたいと思っています。
- おてらく多くの女性研究者は30代に産後を遂げていることとか、現任での年代の研究者が就けるポストのほとんどは任期付きであるためライフイベントによるブランクを恐怖に感じている。同じ機関にいられる間は問題ないかも知れないが任期と出産のタイミングを必ずしも合わせられるわけではないと思うので先輩研究者がどのようにこの問題を乗り越えたか聞いてみたい
- 昨年度参加したいと思ったときに終了後だったのですが、LGBTをテーマにしたものがあったようなので、性の多様性が聞きたいです
- 年代別健康セミナー(IBMの例を聞いて聞きたいと思いました)
- 働く上での健康管理等についての健康セミナー 学生指導や自己管理に使えるようなメンタルケアや心理学的アプローチのセミナー
- 本日のように企業で活躍されている女性の方からお話を伺う機会があれば参考になると思います。
- 介護と研究、仕事との両立、活用できる社会制度の知識の拡大
- 片平キャンパスだけでなく北青葉山キャンパス(理学部・薬)など、他キャンパスでも行ってほしい。半ば強制でも男性教員が参加するイベントがあるといいなと思う。
- 共感の技術として、リーダーシップ、コンフリクトマネジメントあるいはファシリテーションといったものを感じられたが、それらの技術を個人が最適かしていくか、その問題点などがディスカッションできるとうれしい。
- 出産、育児に関してまだまだ理解をしない上司が東北大学にもいます。この種のハラスメントに関するシンポジウムを希望します。
- 女性の健康セミナー(男性向け)
- 仕事と家庭の両立(男性視点)
- ・外国の方の話もききたい ・企業の方の参加も増やしてはどうでしょうか ・男性の育児について
- これからも実社会で実績を残していってほしい女性リーダーの話をぜひ聞いてみたいと思う
- もう少し参加者参加型が理想
- 女性はそうだが、もっと男性が積極的に参加し、男女共同参画を考えるような取組を考えてほしい

Q10 今回のシンポジウムについてご感想をお聞かせください。

- 多角的な知見からのお話を伺えて興味深かったです。事前の広報をもう少しできることにより幅広い世代の参加ができると思います。※開催時期も年末は女性が忙しいと思います
- 参考になる講演が多くて面白かった。パネルディスカッションは少し時間不足だと思いました。
- 共感というテーマがとてもよかった。気づくことが多かった。伊達さんの森トラストでの取り組みについてお聞きできてとても勉強になった。パネルディスカッションで梅田さんがおっしゃっていた横並び意識が日本の現状を言い当てている。次世代について考える意識というのが、重要なのだと感じた。
- 時間が短すぎるのではないか
- 1. 伊達様の経営者としてのご講演、とてもためになりました。 2. ちょうど研究室内学生が相次いで妊娠、出産され(普通じゃないと思うけど)そのケアと共感する気持ち、スキルをお聞きできて良かったです。
- 時間配分が少し良くなかった。内容のわりに時間が短い。
- 参加して良かったと思いました、また機会があれば参加したいと思います。
- 伊達様の会社という公の器を通して社会貢献というお話しと、その視点から大学に求めるものについてのお話しが興味深くお聞きしました。
- みんなが働きやすい職場になるように共感力のスキルを知り、それを実行することが大切であると感じた。さまざまな視点でのダイバーシティに対する取り組みを学ぶ貴重な機会をいただきありがとうございました。
- 大変充実した内容で、学ぶことが多かった
- 様々な分野の方のお話を聞いてとても充実していました。特にジェンダーに関しての考え方がかなり進歩してきていると思いました。
- よいテーマでした。男女共同参画というと男女だけだし、違いが際立つのでインクルーシブの方がのぞましいのではというのが印象に残りました。女性の経済的自立も大事ですね。
- 様々な立場から意見や考え方、具体的な例を聞いて良かった。
- 森トラストさんのお話しとても興味深かったです。
- 性にかかわる問題に関したくさんの視点からの取り組みについてお聞きすることができ、とても勉強になりました。パネルディスカッションでの「共感」というテーマがとてもおもしろかったです。 Q1で性別の欄で男性、女性の2択になっているのですが他の選択肢もあってよいのかなと思いました。
- 胸に花をつけるのはちょっと古いのでは？ちょっと目立つワッペンやシールやバッジの方が・・・ 時間を守らせよう
- 大変興味深い話が聞いて良かったです。
- 他大学の取り組みの方向性、考え方を知ることができてとてもよかったです。ただ、「理系」の論理が中心を占めており、ジェンダースタディーズの「ケア論」などを視野に入れた議論が希薄のような印象でした。新自由主義的競争そのものの問題とそこでの出産、子育て、他人の生き方の関係について深められると良かったと思いました。その点についてのいくつかのヒントはあった気がしたので。新自由主義的競争と係る課題を社会科学的にみる視点がないと本質的なジェンダー平等への道筋は見えてない気がします。GGIもあがらないかなー。
- 全員のお話しをもっと聞いてみたかったです。「共感」とは何か、立場や経験だけでなく相手への好意と興味をもつことから考えてみたいと思いました。大変おこがましい意見ですが、このアンケートの性別欄、ちょっと書きにくい方もいるかな・・・と思い
- 特別講演の内容がよかった
- 自分自身の生き方に対しても考えさせられることが多く、大変有意義な会だった。
- アンケートの選択肢にはダイバーシティが感じられないなと思いました。
- 他領域からの意見を聞くことができてとても有意義な時間が得られた
- 講演、パネルディスカッションともに充実した内容をきくことができ、新たな発見があった。日本もダイバーシティの受け入れに徐々にではあるが確実に理解が進んでいると感じた。
- いろいろな立場の方の考え方を聞くことができ良かった。
- 最後のパネルディスカッションが時間が少なかったので、その時間はもう少し取ってほしかったなと思いました。
- 企業でも大学でもダイバーシティの拡大に必要な意識として共感がいかに大切かを考える場になりました。ジェンダー平等のために他に頼るだけでなく自分自身、技術力をつける必要があると実感しました。
- 大学、企業の女性リーダーのお話を聞き、リーダーシップの取り方について新しい考え方を学べました。また、男性管理職に女性の健康セミナーを受けてもらうという試みには感動しました。
- もっと様々な人に参加してほしいと思います。男性や学生など。
- いろいろな視点の異なる話があり、面白く聞かせていただきました。時期をもう少し考えてもらえるとうれしいです。(早めの時期)パネルディスカッションはもっとパネルディスカッションの時間を取れた方がよかった。
- 共感に関して新たな視点をもつことができました。良い判断はトップダウンで前進させ共感を集めていくという部分良かったです。

- 講演者の話は興味深かったが、時間ものびたし、盛りだくさんに感じた。パネルディスカッション前のパネリスト講演は短く、またはなしでも良いと思う。具体的に実践できるような「共感の技術」の話がもっとあっていいと思った。
- 有意義なシンポジウムに出席させていただきありがとうございました。
- 様々な視点から”共感”というテーマで理解を深めることができました。自分が何をすべきか、できるのか、考えるきっかけになりました。
- 大学、社会、会社と様々な視点から男女参画についてお話を聞くことができ、とても勉強になった。女性側としては女性ということを行い訳にせず前向きに人生を切り開くことが大切だと感じた。
- 大変よい企画でした。共感の技術の続編を希望します。
- たいへん有意義でした。ありがとうございました。
- どのご発表も素晴らしかったです。ご準備大変だったかと思います。ポスター発表がスライドの紹介に変わっていたのがよかったです。ありがとうございました。
- 共感の技術について直江先生のパネルディスカッションがとてもためになりました。
- 全体的に参考となる話が聞けて良かったと思います。
- より多くの男性教員にも聞いてほしいと思った
- 日本で男女共同参画をさらに推進するためには、子供のころからの刷り込まれている教育を改革する必要があると強く思った。
- すばらしいシンポジウムの企画・運営をありがとうございました。
- 最終的な数字は女性：男性が50：50であるべきと思いますが、そういった数字よりも多様な違いを持った方がその違いについて共感を得ながら働けるということが重要であり、社会全体としても発展していく力になると感じました。
- 講演者や挨拶された方が自分の話したいことがたくさんあるのはわかるが「共感」がテーマなら、後に話す人の立場や時間的価値を感じていたら話さないようにしてほしい。その点が残念でした。
- 時間管理の改善が必要
- 「共感」をどう参画に関係させるのか半信半疑でしたが、おもしろい切り口でした。特に梅田氏の体験に基づくお話しおもしろかったです。司会・進行をもう少し短めにやっていただけるとよいと思います。読めばわかるものが多かったのです。
- 特別講演が素晴らしかった。全体を通じて大変学びが多く、ありがとうございました。時間をもっとたっぷりすると良いと思います。(例、13時から17時など)
- 広島大の相田先生のお話しは同じように大学で働く職員としてとても興味深かった。森トラストの伊達社長の話も社会貢献と経営の結びつきなど、なかなかきくことができないお話しをきくことができとてもよかった。刺激をうけた。
- 「男女共同参画」の具体的な取り組みをしている大学・企業の存在がわかり、勇気づけられました。
- 大変参考になるお話をきけたことに感謝します。第16回とはびっくりしました。 ※マイクテストはきちんと行いましょう
- バリエティゆたかで面白かったです。発表時間の管理はもう少しすべきだと思いました)
- 本当の意味での男女共同/平等/均等・・・というのはまだまだだと感じた。女性というより、男性(特に年齢が上の)の意識や考え方がバリアになっていると思う。また、女性の敵は女性・・・とはいうが、性別だけで男/女とひとくくりにしなない方が良いとあらためて思った。